

# みやけの風

## 第 52 号

平成13年(2001年)10月27日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「役場からアンケートが来たっけじよ」「おらげは、もう、書いて送っちゃったゾ」  
 「アーハー。いっぱいあって、大変だったじゃねえ?」「それでも、大事なことから早く出すべと思ってよ」「おうよ、役場からも葉書が来てたっけな」「書くのが難しいところもあんなら、分からねえところは、もやってみよう」「だからあ」

### みんなの声

(1) \_\_\_\_\_

第17回三宅島島民連絡会に国立市泉三宅会より出席することになり、多くの連絡員の方々と久しくお逢い出来る事を大変楽しみに出席させて頂きましたが、当日は日曜日のため各地で行事があり、いつもより少ない集まりのようでした。東京センターの上原事務局長の元気な心温まる挨拶に感激し、身が引き締まる思いでした。

会議は社協の三谷さんの司会で全員の発言があり、大変意見交換が盛り上がり、予定よりも30分以上もオーバーする程の会議でした。まとめで、上原事務局長の「島の事は島民1人1人がよく考え、話し合い、実行しなければ前に進まない」というお話がありました。

最後に寺本会長から「上原さんのおっしゃるとおり。いつまでもおんぶに抱っこではいけない。抱っこくらいだけにして、みんなで知恵を出し合いがんばります」

本日の会議は、大変意義ある連絡会議でした。  
 (国立市泉三宅会 平松 一成)

(2) \_\_\_\_\_

10月21日の島民連絡会にいきました。ふれあい集会と一時帰島の後だったので、色んな意味での情報を自分なりに得る事が

出来、参加して良かったと思います。自分の耳で確かめながら、自分自身で判断する情報収集の場として、毎月1回は開かれ、誰でも参加できるこの会は、とても貴重だと思いました。来月は11月10日に開かれる予定と聞きました。今度は是非友人たちもさそって出かけてみようと思っています。

(江戸川区小松川 栗本 まゆみ)

(3) \_\_\_\_\_

避難するまでは全く何も知らなかった東村山市でしたが、今では三宅島とはまた違った魅力のある地域と思うようになりました。小魚が泳ぎ水鳥が群れる川、カブトムシやどんぐりを育む雑木林、心の和む地域です。いろいろな会合で他地区の話を聞くと、どなたも「自分たちが避難した先が一番いい良いよ」と聞きますが、住めば都ということでしょうか。それでも三宅島に帰りたい。緑と小鳥の声いっぱいの三宅島へ皆さんと一緒に帰りたいな。

(東村山三宅会 窪寺 昇)

### 三宅島支援東京センターからのお知らせ

16

10月17日(日)午後1時30分より、島民連絡会会議が開催されました。22名の出席ながら、木村村民課長も交え、活発な意見・要望・質問が多数かわされました。

まず最初に、先ごろ行なわれた第3回三宅島島民ふれあい集会について、ご感想や

反省点について、ご意見をいただきました。

施設入所している義父が、その日のために体調を整えて準備していた。当日は家族よりも早く迎えに行ってもらい、ありがたかった。という感想があった反面、

「年寄りがこんなところに来て」と言われ落ち込んでいた。という反省点も。

雨が降った後も村職員が最後まで集会を支えてくれたのが心強かった。せっかくバス待ちでみんながテントの中にいたのだから、助役がまわって声をかければいいのと思った。などと率直な感想も出ました。

若い人の参加が少なかった。日程やプログラムを考えた方がいい。集会の回数がひんばん過ぎてついていけない。という集会そのものについての問題提起もされました。

午後のプログラムについて、コーディネーターの木村拓郎氏(社会安全研究所)より、島原の大町辰朗氏の強調していた、

「避難解除になってからでは、行政の特別措置等支援は難しくなるので、今が大切な時期。」をふまえると、「いまの三宅の状況は、ちょっとまずいのでは」そして、

住民がまとまっていけないと行政は動かない。復興には行政と住民との連携が不可欠だ。という感想をいただきました。

次に、第2回避難生活実態調査について、青木総務課係長から説明があり、

記名式が率直な意見を書くネックになっている。という島民からの質問に生活の状況の変化もふまえ、個別対応も

視野に入れて記名式のアンケートとした。回収率や結果については、国も注目しているので是非回答して欲しい。と回答。

回収率を上げるためには訪問が不可欠。島民会も協力するので、早めにぜひ村職員による各避難先での指導を実現して欲しい。と島民からの要望が出されたのを受け、

回答したくない設問に関しては答えなくともよいので、とりあえず回収率を上げたい。あじさいの里で計画中の福祉アンケートと共に聞き取り調査の依頼を検討。と村。

最後に、自由な意見交換では、屋根の応急補修の要望調査について

屋根補修要員が神津から通うという話だが、それは要員の負担、依頼者の負担が増えるのみ。クリーンハウスを整備するのが先決なのでは。とか、

自宅の状況の把握も出来ていない人はどうすればよいのか。などという意見が出されました。また、

5月以降開かれていない住民説明会を、ぜひ各地で開いてほしい。

各地の小さな集まりにも行政が出向いてもらうような体制を作っていこう。

何かが起きるのを待っているだけでなく、島民自ら、これからどうしたいのか、みんなで考えるということを始めなければ、何も起こらない。と数々の意見が出ました。

次回、島民連絡会会議は11月10日(土)です。より率直に話し合い、復興につながる会議になりますように。

10月 テーマ：『さわやかに老いる』 11月 テーマ：『風邪の予防』

日 程	時 間	場 所	担 当
10月30日(火)	14:00～15:30	練馬区役所	肥後・福本
11月1日(木)	14:00～15:30	北区桐ヶ丘ボランティア会会議室	宮下・福本
11月2日(金)	14:00～15:30	府中市南町アパート集会所	肥後・福本

お問合せ先：あじさいの里 TEL：03-3459-8388

日時や場所は、変更することがありますので、事前に電話でご確認の上お出かけください